

2020年度開催セミナーのご案内

技術力で差をつけるための

実験計画法実践セミナー

2日間

まずは実験計画法の基礎知識を
習得し活用したい!

エントリーコース

4日間

業務上で各種調査・実験を行い、
データの収集・解析・評価を行えるようにしたい!

スタンダードコース

6日間

チームリーダーとなって問題を解決できる人材、
社内教育の講師となる人材を育成したい!

エキスパートコース

2日間

タグチメソッドの基本的な概念や手法を
理解したい!

タグチメソッド入門コース

主催 一般財団法人 日本科学技術連盟

<http://www.juse.or.jp/>

参加のすすめ

本セミナーでは、技術力の確立をねらいとして、データの収集、解析を支援する実験計画法などを自らの問題に活用し、効果的に技術開発を実践する能力を育成します。この育成のために、実験計画法そのものの教育に主眼を置くのではなく、技術的問題、課題に対する手法の応用方法や、難解な問題、課題をどのように攻めるかに主眼を置き、実験計画法はそのための手段という位置づけにしています。

セミナータイトルにある「技術力で差をつける」とは、他者(社)が確立できていない技術を最初に確立することや、困っている難しい問題を解決して、製品や生産に適用することです。そのためには、新しいアイデア(仮説)を出し、どのようにしたら実現できるかのシナリオを立て、シナリオに従いデータ(事実)を取得します。そして、統計的な解析と技術的な解釈(検証)を加えて、知見とするプロセスを踏みます。このプロセスを実践するためには、単にデータ収集や解析のテクニックだけでなく、アイデアを出してこれを検証・確立するまでのスキルを身につける必要があります。本コースでは、技術力確立のためのデータの収集、解析、導入について、実験計画法を中核とする一連の方法を修得できます。

実験計画法セミナーは、「**エントリーコース**」、「**スタンダードコース**」、「**エキスパートコース**」の3つから構成されます。

エントリーコースでは、実験計画法の本質がどこにあるのか、どのような場において有効であるのかを説明します。スタンダードコースでは、手法を実際に職場で実践できるよう技術的問題、課題に適応する能力を育成するために、実際の活用事例を多数紹介します。例えば、実験計画法において因子をどのように取り上げているかなど、応用上の事例が多数含まれます。さらにエキスパートコースでは、現実問題をモデルとし参加者が解決の戦略をも含めて考える演習により、実践力の育成をしています。

また、関連セミナーとして「**タグチメソッド入門コース**」があります。実験計画法に関する各コースの構成(学べるレベル)は以下をご参照のうえ、ぜひ当セミナーをご利用ください。

難解な問題に対応でき、指導できる実践力を身につける

エキスパート コース (6日間)

高度な手法を学ぶ

最小二乗法、応答曲面法、最適計画、パラメータ設計、ロバスト最適化

より有用な実験結果を得るためには、より現実に近い環境での実験が必要になります。そして現実に即するためには、複雑な環境、変動する条件、多数の要素等の設定と組み合わせが必要になります。ここでは、そういった状況に対応できる、高度な手法を学んでいただきます。

事例で適応が 身に付く

活用事例の紹介(クロムメッキ、ECU、チラーユニット等の活用事例紹介)

実践演習で実践力を身につける

実践演習(ロバスト最適化シミュレーション、パラメータ設計、鳥シミュ、RCカー演習)

より現実に即した複雑な状況・環境を設定し、その中で実験を計画し、解析する、よりリアルな実験計画法演習です。知識としての手法だけでなく、問題を解決するために必要な要素の判断、データの収集、その解析と解釈と言った、より実践的な力量を修得していただけます。

業務上の課題に活用できる適応力を身につける

スタンダード コース (4日間)

本格的な手法を学ぶ

直交表

実際の実験では、さまざまな要素を組み合わせることがほとんどです。ここでは中級編として、3つ以上の要素を組み合わせ、解析する手法を学んでいただきます。

乱塊法

実際の実験では、実験の場(実験日など)が異なることにより、実験結果に影響してしまう場合があります。その様な場合の解析方法を学んでいただきます。

分割法

実際の実験では、1回の実験に時間がかかる、あるいは実験資材が高価である場合があります。この様な場合には、分割法にもとづいて実験することにより、効率化がはかれます。

ケーススタディと演習で適応力を身につける

シミュレーション実験(逐次探索実験)

与えられたデータで実験の流れを体験できる演習です。この演習を通し、実際に手法を活用し、そこから有用な情報、結果を得ていく経験・ノウハウを修得していただきます。

活用事例の紹介(電子部品印刷ライン、ブレーキキャリパー等の活用事例紹介)

実験において、状況に応じ、どのような手法を選択するか、またどのように要素を組み合わせるのかは、重要なことです。しかし、実際には、それらを実験に携わる方が自ら判断する必要があります。事例を通し、さまざまな状況のケーススタディを行っていただきます。

基礎的な知識を学ぶ

エントリー コース (2日間)

統計的方法の基礎

実験における「統計的方法の基礎」とは、いわば文章における文法のようなものです。文法を間違っていると文章の意味が通じないように、統計の基礎知識があやふやだと、いくら高度な手法を用いても良い結果は得られません。実験計画法に携わるときに必須の基本作法として、まずは統計的方法の基礎を学んでいただきます。

一元配置実験、二元配置実験

実験計画法を学んでいただくときに、初めから複雑な手法を学んでも理解に手間取ってしまいます。まずは初級編として、実験計画法の骨子を知るため、1つ~2つの要素の組み合わせの実験を計画・解析する、基礎的な手法を学んでいただきます。

技術力で差をつけるための実験計画法実践セミナー エントリーコース

2日間

当コースは実験計画法超入門です。実験計画法と言っても、上手なデータの採り方と正しいデータ解析です。上手なデータの採り方を学ぶと、何が効いているか分からない、決めた条件が正しいかどうか自信がない、組み合わせると意外な結果が出てしまうなどの困りごとに役立ちます。データ解析にはExcelを使います。講義を聴きながらExcelシートを作ると、データ解析の道筋とデータ解析の理屈が分かります。できあがったシートはすぐに使えて実践に役立ちます。2日間という短期間ですが、中身の濃いコースです。

また、スムーズな受講のために事前学習資料を用意しました。事前に課題、テキストと解析用Excelファイルをお渡しします。テキストを見ながらExcelファイルを使って実際にデータを解析してみてください。セミナーでは事前学習の解説から始めます。 ※ Microsoft Windows、Microsoft ExcelおよびMicrosoft Office製品は米国Microsoft社の登録商標です。

コースの特徴

- 演習にはExcelを使用します。
- 技術職の方が必要とする、実験計画法の基礎知識を短期間で学びたい方におすすめのコースです。
- スタンダードコースと合わせて受講することで、旧・実験計画法セミナー入門コースと同等の内容を学べます。
- テキストとして、書籍「実践に役立つ実験計画法入門」を配付しています。

受験生の声（2019年度アンケートより）

- 実験で有意と客観的に判断できる計算、根拠の概要を知ることができました。
- 統計データの解析法や具体的に何をやっているのか、ソフトで表示される式の意味がイメージできた。
- テキストの内容をExcel演習で理解を深められた。
- 実験を何回やればよいか、また、その実験データは信頼できるデータであるのかなど、実験を効率よく行う方法を学べた。

対象

短期間に実験計画法の基礎知識を習得し活用されたい方

会場

東京・日科技連 本部

講師

奥原正夫（諏訪東京理科大学）他、斯界の権威ある研究者および企業の実務家が指導にあたります。

参加費

55,000円（一般）（税抜き）
48,000円（会員）（税抜き）
※パッケージ料金については、下記をご覧ください。

カリキュラム			
前期	1日目	9:20 18:00	技術力獲得のための実験計画法とは、統計的方法の基礎 （データ・統計量の分布、検定・推定、実験データの解析） 一元配置実験の計画と解析（質的因子） （一元配置実験とは、実験データの解析方法）
	2日目	9:30 18:00	二元配置実験の計画と解析（質的因子と質的因子） （二元配置実験の計画と解析、繰り返しのない二元配置実験） スタンダードコースへ続く道 （量的因子の扱いと直交配列表の紹介）

回数	日程
1	5月25日(月)～26日(火)
2	9月1日(火)～2日(水)
3	11月4日(水)～5日(木)



[テキスト]
「実践に役立つ実験計画法入門」
奥原 正夫著

パッケージ料金のご案内(税抜き)

目標とするレベルの達成に向けて、段階を踏んで受講していただけるコース構成です。計画的に受講していただきやすいよう、お得なパッケージ料金をご用意しておりますので、ぜひご利用ください。

参加費が最大で
26,000円もおトクになります！

コース名		通常価格	セット1 (A+B)	セット2 (B+C)	セット3 (A+B+C)
A	エントリーコース	一般： 55,000円 会員： 48,000円	一般： 145,000円 会員： 130,000円		一般： 280,000円 会員： 250,000円
B	スタンダードコース	一般： 106,000円 会員： 95,000円		一般： 228,000円 会員： 203,000円	
C	エキスパートコース	一般： 145,000円 会員： 130,000円			

※同じ受講者が同年度内にセット1～3の内容でお申込みいただいた場合、上記パッケージ料金で受講することができます。

技術力で差をつけるための実験計画法実践セミナー スタンダードコース

2日間×2ヶ月

このコースでは、技術開発における複雑な問題が解決できるように、問題解決の進め方などの概論、直交表による一部実施実験、乱塊法、分割法などの一通りの実験計画法を体得します。その上で、いくつかの活用事例について、活用上の要点を議論したうえで、実際にパソコンを操作しながら学びます。さらに、逐次的にデータを収集しながら最適な条件を求める演習に参加することで、複雑な問題の解決能力の育成を目指します。演習では統計ソフトStatWorks/V5を使用します。

コースの特徴

- 業務上で各種調査・実験を行い、データの収集・解析・評価をされる方のためのコースです。
- 演習で使用するStatWorks/V5のセミナー限定版をお持ち帰りいただけます。受講後は正規ユーザーとして使用できます。
- エントリーコースと合わせて受講することで、旧入門コースと同等の内容を学べます。
- 実験計画法の書籍として高い評価を受け、日経品質管理文献賞を受賞した「実験計画法―方法編―」をテキストに使用します。
- 書籍「実験計画法―活用編―」をテキストに使い、実際に企業で実験計画法を用いた活用事例を紹介します。

カリキュラム

前期	1日目	9:30 12:30	技術開発における統計的手法の役割 多元配置実験復習 直交表による一部実施実験(1)
		13:30 18:00	直交表による一部実施実験(2) 直交表による一部実施実験事例紹介
	2日目	9:30 12:30	直交表による一部実施実験事例紹介
		13:30 18:00	乱塊法、分割法
後期	3日目	9:30 12:30	乱塊法、分割法についての演習 測定の繰り返し、反復
		13:30 18:00	複雑な問題への対応:欠測値、計数値の扱い 実験計画法を実践的に活用した最適条件の追求(1) シミュレーション実験と解析ソフトを駆使した演習
	4日目	9:30 12:30	実験計画法を実践的に活用した最適条件の追求(2)
		13:30 16:45	実験計画法を実践的に活用した最適条件の追求(3) ・結果発表とまとめ ・実験計画法活用のポイント
		17:00 18:00	エキスパートコースへ続く道

受験生の声 (2019年度アンケートより)

- 実際にStatworksを使いながら演習をしたことで理解が深めることができた。
- 最適条件を効率よく求める方法を、実験計画シミュレーションを通して経験できる。
- 実験計画法の基礎が学べてよい。実習により理解が深まる。
- 今まであやふやだった基礎が身についたので、意識して知識を使っていきたい。

対象

技術・設計・新製品開発部門の方で、前提知識(エントリーコース修了程度)を有する方

会場

東京・日科技連 本部

講師

山田 秀(慶應義塾大学)他、斯界の権威ある研究者および企業の実務家が指導にあたります。

参加費

106,000円(一般)(税抜き)

95,000円(会員)(税抜き)

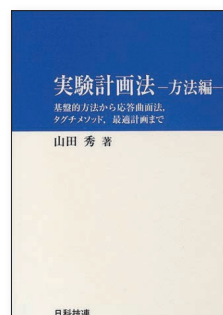
※パッケージ料金については、p.3をご覧ください。

回数

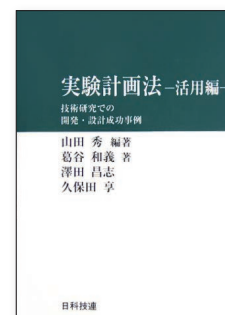
日程

1	前期	6月 3日(水) ~ 4日(木)
	後期	7月 6日(月) ~ 7日(火)
2	前期	9月 14日(月) ~ 15日(火)
	後期	10月 15日(木) ~ 16日(金)
3	前期	12月 1日(火) ~ 2日(水)
	後期	1月 20日(水) ~ 21日(木)

[テキスト]



「実験計画法―方法編―」
山田 秀著



「実験計画法―活用編―」
山田 秀編著
葛谷 和義 / 澤田 昌志 / 久保田 享著

JUSE-StatWorks®/V5

※実験計画法セミナー限定版をご提供いたします。

このコースでは、自らが率先して困難な技術的課題や技術開発を進められる人材、社内コースでの講師になりうる人材を育成するために、最先端の手法、複数の応用事例の紹介、複数の演習が含まれています。技術開発における統計的手法、実験計画法の活用という概論に加え、直交表だけでなく、パラメータ設計、応答曲面法、最適計画、ロバスト最適化などの手法の講義もあります。これらは、事例とともに紹介されるので、実践力が養われます。加えて、参加者が自ら戦略を考えながら進める演習も複数含まれており、受講後は技術開発に役立てられるようになります。演習では統計ソフトStatWorks/V5を使用します。

コースの特徴

- 業務上で各種調査・実験を行い、データの収集・解析・評価をされる方のためのコースです。
- 演習で使用するStatWorks/V5のセミナー限定版をお持ち帰りいただけます。受講後は正規ユーザーとして使用できます。
- 実験計画法の書籍として高い評価を受け、日経品質管理文献賞を受賞した「実験計画法―方法編―」をテキストに使用します。
- 書籍「実験計画法―活用編―」をテキストに使い、実際に企業で実験計画法を用いた活用事例を紹介します。

カリキュラム

第1月	1日目	9:30 15:00	概論 事例	技術開発における統計的手法の役割 分散分析による効果の把握 直交表などの復習
		15:15 18:00	手法	頑健性向上:パラメータ設計
	2日目	9:30 14:30	演習	頑健性向上:パラメータ設計 鳥コンシミュレータ:ダビンチを超える
		14:45 18:00	事例	頑健性向上:パラメータ設計
第2月	3日目	9:30 12:30	手法	連続変数の最適化:最小二乗法、応答曲面法、最適計画
		13:30 18:00	事例	応答曲面法など適用事例の紹介
	4日目	9:30 12:30	演習	連続変数の最適化:ダイナミック特性の要因解析
		13:30 18:00	手法 事例	ピッチングマシン・シミュレータ :魔球を再現しよう
第3月	5日目	9:30 12:30	手法	DEとその周辺(多重比較、一般化線形モデル) 多目的設計探索
		13:30 18:00	活用	午前の続き シミュレーション実験事例
	6日目	9:30 12:30	手法	ロバスト最適化
		13:30 18:00	演習	RCカーシミュレーター:じゃじゃ馬を乗りこなす 総合質疑

受験生の声(2019年度アンケートより)

- 自社内での計画法展開・及び自身のスキルアップのため参加したが、確実に身についたものがあると感じられる。
- 「実務に生かす」ということを目的に解説をいただける点は有用。
- 様々な演習を通して自身の業務への応用方法が学べる、もしくは手助けになるので有用だと感じた。
- 応答曲面法を理解し、実務的な作業へ落とし込めた。

対象

技術・設計・新製品開発部門の方で、前提知識(スタンダードコース修了程度)を有する方

会場

東京・日科技連 本部

講師

山田 秀(慶應義塾大学)他、斯界の権威ある研究者および企業の実務家が指導にあたります。

参加費

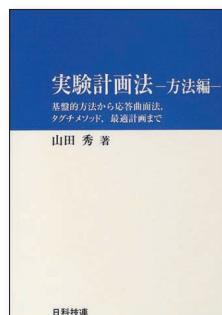
145,000円(一般)(税抜き)
130,000円(会員)(税抜き)
※パッケージ料金については、p.3をご覧ください。

回数

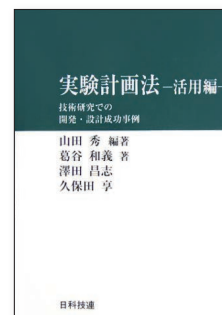
日程

1	第1月	10月 19日(月) ~ 20日(火)
	第2月	11月 16日(月) ~ 17日(火)
	第3月	12月 7日(月) ~ 8日(火)

[テキスト]



「実験計画法―方法編―」
山田 秀著



「実験計画法―活用編―」
山田 秀編著
葛谷 和義/澤田 昌志/久保田 享著

JUSE-StatWorks®/V5

※実験計画法セミナー限定版をご提供いたします。

タグチメソッド入門コース

2日間

タグチメソッド(品質工学)は、パラメータ設計、MTシステムをはじめとして、製品や加工工程の問題が発生しないように、品質を作り込む技術の体系です。

不況の中で効率的に品質問題の未然防止が実現するタグチメソッドの理解と習得は、開発コストの低減、開発期間の短縮のために、技術・設計開発・研究・品質管理の分野に携わる技術者には必要不可欠になっています。

タグチメソッドは一般に難解な手法とされ、SN比の計算式の理解だけでも大変とされてきました。当コースでは計算式などの理解よりは、タグチメソッドの基本的な概念や手法の理解を主眼としています。また、適用事例を数多く紹介し、タグチメソッドの即戦力を身につけていただくことも狙いとしています。

また、当コースは、タグチメソッドを説明するうえで、実験計画法との連続性を念頭に置いたカリキュラムで構成しており、両者を統合的に解説するコースです。

コースの特徴

- タグチメソッドの入門書として高い評価を受け、日経品質管理文献賞を受賞した『入門タグチメソッド』をテキストとし、初心者にもわかりやすい講義を行います。
 - 2日目の午後は、『実験計画法―活用編―』をテキストに使い、実際に企業でタグチメソッドを用いた活用事例を紹介します。
 - 上記2冊のテキストを使用し、タグチメソッドと既存の実験計画法を連続的に扱っておりますので両者を統合的に講義します。
 - 前提知識(直交表までの基本)が不安な初心者の方にも安心してご参加いただけるよう、以下の内容を実施しております。
 - 統計ソフト「JUSE-Statworks/V5 品質工学編 期間限定版」を使用した演習で、より深い知識の習得ができます。
- (1)テキストと資料を事前にお送りすることで、予習いただけます(参加者全員)。
- (2)本コースに参加する前に、「スタンダードコース」初日(直交表の講義)を特別価格で受講いただけるオプションをご用意しております(受講日指定)。

カリキュラム

1日目	9:20 17:00	書籍『入門タグチメソッド』から システムと安定性／ パラメータ設計入門(望目特性を例として) ／動特性のパラメータ設計／ 技術開発段階でのパラメータ設計／ 設計非線形システムのパラメータ設計／ 入出力が測れない場合のパラメータ設計 演習
2日目	9:30 17:00	書籍『入門タグチメソッド』から 直交表を利用したその他の設計活動／ MTシステム／ タグチメソッドと開発プロセス改革 演習 書籍『実験計画法―活用編―』から事例紹介 「粉末成型における粉末供給方法の高度化」

受験生の声(2019年度アンケートより)

- ・タグチメソッドを使う目的がわかる。品質工学についての入門として非常に分かりやすいため、有用であると感じた。
- ・設計や開発部門の人へ勧めたいです。立上げ工数を上げる事ができそうです。
- ・タグチメソッドの概要をほぼ理解できた。実習を通して実際の使い方を学ぶことができた。
- ・品質工学のエッセンスがわかる。分かりやすいので、品質工学嫌いの人にもお勧めできる。

対 象

技術・設計開発・研究・品質管理に携わる技術者の方。タグチメソッドに興味があり、直交表までの基本が理解できている方。

会 場

東京・日科技連 本部

講 師

救仁郷誠(元 富士ゼロックス 株)、
角谷幹彦(アイシン精機 株)他

参加費

49,000円(一般)(税抜き)
42,000円(会員)(税抜き)

回数

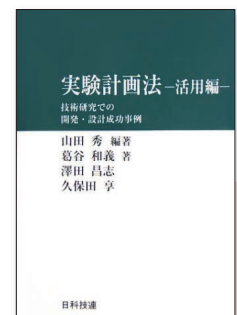
日 程

1	7月 1日(水)～ 2日(木)
2	9月 16日(水)～ 17日(木)

[テキスト]



「入門 タグチメソッド」
立林 和夫著



「実験計画法―活用編―」
山田 秀編著
葛谷 和義／澤田 昌志／久保田 享著

**JUSE-
StatWorks®/V5**

※実験計画法セミナー 期間限定版をご提供いたします。

■ コースの体系 ■

目 的	おすすめのコースと開催日程	受講に必要な前提知識
基礎的な知識を身につけたい	エントリーコース 2日間	当コースでは、事前学習資料(演習問題とExcelデータ)をご用意し、予習を強く推奨しています。事前学習により基礎が確実に理解でき、講義の理解が深まります。
業務上の課題に活用できるようになりたい	スタンダードコース 2+2日間(前・後期)	エントリーコース修了程度 統計的方法の基礎*、検定、推定、一元、二元配置実験
難解な問題に対応でき、指導できる実践力を身につけたい	エキスパートコース 2+2+2日間(第1~3月目)	スタンダードコース修了程度 統計的方法の基礎*、検定、推定、一元、二元配置実験、直交表、乱塊法、分割法
タグチメソッドの基本的な概念や、手法を理解したい	タグチメソッド 入門コース 2日間	統計的方法の基礎*、検定・推定、一元、二元配置実験、直交表 オプション スタンダード 当コースでは直交表に自信のない方のために、事前学習資料をご用意し、オプションでスタンダードコースの直交表の部分受講を用意しています。

※ここでの「統計的方法の基礎」とは「各種統計量、データの分布」を指します。

■ 各コースの日程 ■

	エントリーコース	スタンダードコース	エキスパートコース	タグチメソッド入門コース
5月	↓ 5/25~26			
6月		↓ 前期 6/3~4		
7月		↓ 後期 7/6~7		↓ 7/1~2
8月				
9月	↓ 9/1~2	↓ 前期 9/14~15		↓ 9/16~17
10月		↓ 後期 10/15~16	↓ 1月目 10/19~20	
11月	↓ 11/4~5		↓ 2月目 11/16~17	
12月		↓ 前期 12/1~2	↓ 3月目 12/7~8	
1月		↓ 前期 1/20~21		
2月				

オプション
スタンダード
6/3

オプション
スタンダード
9/4

■ 実験計画法セミナー指導講師一覧 ■

◎山田 秀 慶應義塾大学 理工学部 管理工学科 教授	鈴木 知道 東京理科大学 理工学部 経営工学科 教授
相澤 健実 元・太平洋セメント(株)、東京情報大学等非常勤講師、博士(工学)	角谷 幹彦 アイシン精機(株) TQM・ISO推進部 チームリーダー
内田 治 東京情報大学 総合情報学部 総合情報学科 准教授	立林 和夫 元・富士ゼロックス(株)
奥原 正夫 公立諏訪東京理科大学 工学部 情報応用工学科 教授	隈 雄亮 (株)三菱ケミカルホールディングス 経営企画室 マネージャー、博士(工学)
救仁郷 誠 元・富士ゼロックス(株)	松田 啓寿 松田技術士事務所、(一財)日本科学技術連盟 嘱託
久保田 享 SQC実践研究会 副主査	光藤 義郎 文化学園大学 特任教授
澤田 昌志 アイシン精機(株) TQM・ISO推進部 主査	山下 慎一 アイシン精機(株) TQM・ISO推進部 チームリーダー
佐野 雅隆 千葉工業大学 社会システム科学部 経営情報科学科 准教授	吉野 睦 (株)デンソー 生産技術部 Factory lot室 データ解析課 担当次長 技師、博士(工学)
鈴木 聡 (一財)日本科学技術連盟 嘱託、東京情報大学非常勤講師、品質コンサルタントオフィス 所長	

(敬称略、五十音順。◎は運営委員長。2020年3月現在。)

■ 参 加 要 領 ■

申込方法

【郵送またはFAXでのお申込み】

下記参加申込書に必要事項をご記入のうえ、お送りください。
 〒163-0704 東京都新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル4F
 一般財団法人 日本科学技術連盟 セミナー受付宛
 Tel 03-5990-5849 Fax 03-3344-3022 E-mail regist@juse.or.jp

【ホームページからのお申込み】

<http://www.juse.or.jp/> の各コースのページからお申込みください

お問い合わせ先

本コースの内容については、(一財)日本科学技術連盟 DEセミナー担当にお問い合わせください。
 Tel 03-5378-1214 Fax 03-5378-9842 E-mail jusemsd@juse.or.jp
 ※本パンフレットのPDFデータを希望される場合は、上記お問合せ先までご連絡ください。

2020年度 参加申込書

FAX 03-3344-3022

※該当の**コース名**に
☒ を入れ参加される**回数**をご記入
 ください。

- ☐ 第____回 技術力で差をつけるための実験計画法実践セミナー エントリーコース
☐ 第____回 技術力で差をつけるための実験計画法実践セミナー スタンダードコース
☐ 第____回 技術力で差をつけるための実験計画法実践セミナー エキスパートコース
☐ 第____回 タグチメソッド入門コース
☐ 第____回 タグチメソッド入門コース+スタンダードコース前期初日(直交表の講義)

■ 参 加 者 ■

月 日 申込

記入不要	氏 名	所属事業所・部課・役職	セットをご利用の場合、希望の回数をご記入ください。
			第____回エントリー、第____回スタンダード、第____回エキスパート
			第____回エントリー、第____回スタンダード、第____回エキスパート
			第____回エントリー、第____回スタンダード、第____回エキスパート

■ 連絡担当者（お申込受付後「開催ご通知」をお送りする方） ■

会 社 名		事 業 所		TEL	
部署・役職		担当者名		FAX	
所 在 地	〒			会 員 番 号	

■ 参 加 費 ■

コース名	日数	単体	セット1	セット2	セット3
エントリーコース	2日間	一般: 55,000円(税抜き)×____名 会員: 48,000円(税抜き)×____名	一般: 145,000円(税抜き)×____名 会員: 130,000円(税抜き)×____名		一般: 280,000円(税抜き)×____名 会員: 250,000円(税抜き)×____名
スタンダードコース	4日間 (2日×2か月)	一般: 106,000円(税抜き)×____名 会員: 95,000円(税抜き)×____名	一般: 145,000円(税抜き)×____名 会員: 130,000円(税抜き)×____名	一般: 228,000円(税抜き)×____名 会員: 203,000円(税抜き)×____名	
エキスパートコース	6日間 (2日×3か月)	一般: 145,000円(税抜き)×____名 会員: 130,000円(税抜き)×____名			
タグチメソッド入門コース	2日間	一般: 49,000円(税抜き)×____名 会員: 42,000円(税抜き)×____名			
タグチメソッド入門コース+スタンダードコース初日	2日間+1日間	一般: 67,000円(税抜き)×____名 会員: 56,000円(税抜き)×____名			

※ お支払いにつきましては、お申込み受理後、請求書と開催通知を併せてお送り致しますので、請求書発行後2ヵ月以内にお支払いください。
 ※ ご本人の都合が悪くなった場合には、原則として代理の方のご参加をお願いします。
 やむを得ず、お客様の都合でキャンセルされる場合にはセミナー受付に電話、EメールまたはFAXでご連絡をお願いします。なお、その際にはキャンセル料を申し受けます。
 【キャンセル料】 ・セミナー開講日の7営業日前～2営業日前のキャンセル…参加費の20%、 ・1営業日前の～17:00までのキャンセル…参加費の50%、
 ・1営業日前の～17:00以降のキャンセルまたは事前のご連絡がなかった場合…参加費の100%
 ※ 参加費は、消費税抜きの金額です(消費税転嫁対策措置法の総額表示義務の特例により)。一部未定または予定のものもあります。